



## 11/4 感謝の気持ちを光に乗せて



エッセンシャルワーカー（生活維持に欠かせない職業に就いている人々）応援ライトアップ事業として、今春から実施される「えんとつ山ライトアップ事業」のテスト点灯が行われました。山頂にある煙突の周囲にLEDフルカラー投光器を設置し、煙突を夜空に美しく浮かび上がらせるものです。

このLED照明は、市役所に設置したパソコンなどからの遠隔操作により、色や点灯パターンを変化させることができるため、今後は色による情報提供も可能となります。

## 11/6 8年間に渡る活動が認められました



優良青少年団体知事表彰を受賞した、高校生ボランティアサークル「May（メイ）」のメンバーらが市役所を訪れました。

このサークルは平成24年に市内の高校生を中心に設立。地域清掃活動や障がい者団体のイベント補助など、さまざまな場所で積極的な活動を行ってきたことが認められ、今回の受賞に至りました。メンバーの藤田杏奈さん（3年）は「今、何ができるのかを考えて活動をしたい。たくさんの人にMayの存在を知ってほしい」と今後の抱負を語りました。

## 11/7 コロナ禍での避難所運営を体感



災害発生時の避難所運営について学ぶ、避難所運営ゲーム（HUG）風水害版の研修が消防防災合同庁舎で開催され、新居浜防災士ネットワークのメンバー約30人が参加しました。

（一財）消防防災科学センター防災図上訓練指導員の毛利泰明さんが講演を行った後3班に分かれ、避難所に見立てた図面上に、避難者の名前や性別、それぞれが抱える事情、災害対策本部からの連絡などが記されたカードを次々と読み上げ、配置や状況に応じた対応などを考えました。参加者は「事前の役割分担が大切」、「情報の整理が大変」と避難所運営の難しさを体感していました。

## 11/20 家族からの一言をきっかけに



長年にわたる人権擁護・人権啓発活動に尽力した功績が認められ、新居浜市人権擁護委員の藤田幾代さんが法務大臣表彰を受賞しました。

委員を始めたきっかけは、家族からの「人の役に立つのなら、頑張ってみたら」という一言。これまで10年以上にわたって相談や啓発活動に取り組み、現在は愛媛県人権擁護委員連合会の、子ども対象の人権教室で“思いやりの心”を育む活動などに取り組んでいます。

藤田さんは「今までの経験を生かし、今後も人と人がつながる人権擁護や人権啓発を頑張っていきたい」と笑顔を見せました。



## 11/22 見慣れた景色を「教室」に



駅前シンボルロードを歩行者天国にする「おさんぽ道の公園」が開催され、親子連れが秋の休日を満喫しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で人が集まることが難しい状況にある中、見慣れた景色にひと工夫。新居浜駅から約160メートルの区間には、キッチンカーや子どもが遊べるコーナーが軒を連ね、にぎやかな散歩道に様変わりしました。

学校の授業を模したコーナー「青空教室」も大人気。子どもたちは道路に絵を書いたり、キックバイクで遊んだり、秋空の下でコロナ禍を忘れるほど楽しんでいました。

## 11/24 パスでつないだ！3年ぶりに全国へ



全国高校選手権（ウインターカップ2020）に、3年ぶり13度目の出場を決めた、新居浜商業高校女子バスケットボール部の女子部員らが市役所を訪れ、大会に向けた抱負や意気込みを語りました。

チームの強みはパスでつなぐプレーと最後まで走りぬく体力。コロナ禍の中、限られた練習時間で基礎的な練習を丁寧に行ったそうです。

市長からの激励の言葉に、主将の横内来美さん（3年）は「全国という大きな舞台だが、まずは1勝を目標に頑張りたい」と笑顔で応えました。

## 11/26 今しか見られない現場に興味深々！



2018年から耐震補強工事中の「旧端出場水力発電所（立川町）」の特別見学会が開催され、市民ら87人が普段は入ることのできない工事現場を見学しました。

見学会では、天井近くまで組まれた足場の上で、耐震工事の様子や工法などについて担当者から説明が行われました。参加者らは外観の特徴である「れんが壁」を補強するため壁内に挿入されたステンレス筋や、鉄骨梁の工事概要などの説明を聞きながら、工事の現場を熱心に見入っていました。

一般公開は2022年秋頃を予定しています。

## 12/1 黒板に住む小人と遊ぶ★



マイントピア別子あかがねキッズパークに、体験型デジタルアート「小人が住まう黒板」が新たに常設され、角野保育園の園児ら22人が事前体験を行いました。

展示はチームラボ（東京）が手掛けたもので、黒板に見立てたスクリーンに映し出された、小人やシャボン玉などにタッチしたり、線を引いたりすると、「黒板」の中の世界がどんどん変化していきます。体験した園児は「今までしたことのない遊びで楽しかった」「小人の動きがすごく面白い」と夢中になって遊んでいました。

※P 27に関連情報があります。

12/ 1 マンホールトイレの設営を学ぶ



災害時に重要なのは水や食料、そして「トイレ」の確保。本市では新居浜、宮西の両小学校に避難所として初めてマンホールトイレを設置し、両校でデモンストレーションが行われました。

1日に新居浜小学校で開催されたデモンストレーションでは、児童と地元住民ら約40人が組み立て方などを学びました。

当日は、マンホールトイレの概要説明後、実際に参加者らが便器やテントの組み立てに挑戦。徳本<sup>しおり</sup>さん（新居浜小4年）は「思ったよりも組み立てるのが簡単で、座り心地も良かった」と驚いていました。

12/ 9 笑顔で楽しく入賞を目指す！



第48回バトントワーリング全国大会に出場を決めた「高津っ子バトンクラブ」が報告のため市役所を訪れました。

通常であれば、幕張メッセ（千葉県）で開催される全国大会ですが、コロナ禍の影響で1月から2月にかけてビデオ審査によるリモートでの開催となります。選手らは「全国大会では笑顔で楽しく、入賞できるように頑張りたい」「バトンを落とさないよう笑顔で踊りたい」などと各々が決意を述べ、市長からは「素晴らしい成績を残せるように頑張ってもらいたい」とエールが送られました。



▲応募フォームはこちら

平成31年・令和2年1月生まれのお子さんを紹介します。

【応募方法】お子さんの写真・氏名（ふりがな）・性別・生年月日、住所、保護者氏名、昼間連絡がとれる電話番号、20字以内のコメントを添えて、下記へ郵送・持参・メール（JPEG形式）してください。記入に不備があった場合は、掲載できないことがあります。掲載・非掲載に関わらず、写真は返却できません。平成31年・令和2年3月生まれのお子さんの写真を募集します。締め切りは、**2月1日(月) (執務時間中必着)**です。

【応募先】〒792-8585 秘書広報課 広報係（3階南）  
☎ 65-1251 ☒ hisyokouhou@city.niihama.lg.jp  
※メール応募の場合…送信後2～3開庁日以内に受付完了の返信がない場合は、秘書広報課までご連絡ください。



おとほ  
松本音羽ちゃん  
平成31年1月29日生  
祝2歳☆おめでとう♡にこにこ  
ご笑顔が大好きだよ♡



りっか  
近藤六花ちゃん  
令和2年1月4日生  
りっちゃん 元気に大きくな  
あれ



みお  
田窪澯ちゃん  
令和2年1月27日生  
祝1歳♪ 笑顔いっぱい、  
大きく育ってね。



こほる  
近藤心陽ちゃん  
令和2年1月29日生  
笑顔いっぱい、のびのび成  
長してね😊

※応募数により、月によって写真のサイズは変わる場合がありますのでご了承ください。